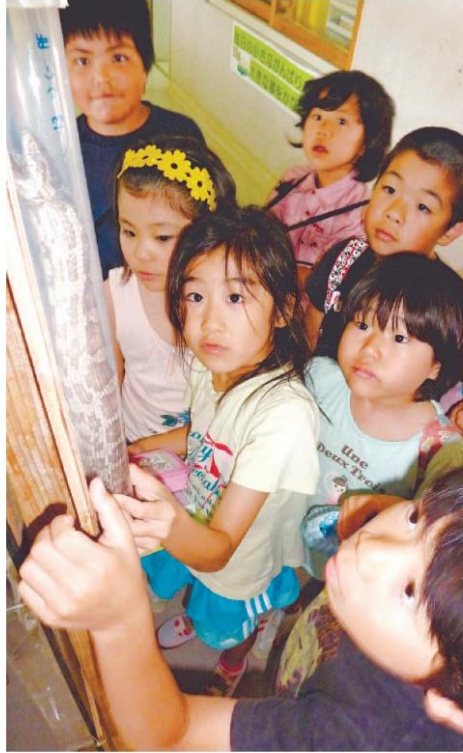


全長133センチのハブ「自分よりも大きい」

校内で捕獲 展示 真嘉比小

都市開発が進む那覇市真嘉比地域にある、同市立真嘉比小学校（崎原永輝校長）校内ごみ置き場で4月、全長133センチのハブが捕獲された。学校はそれを標本にし、校内で展示、児童や保護者らの注目を集めている。崎原校長は「真嘉比にこんなに大きいハブがいることに驚いた。子どもたちに見せ、注意喚起や環境について考えるきっかけになれば」と話している。ハブは4月23日朝、校



展示されているハブに見入る児童ら＝23日、那覇市立真嘉比小学校

内のごみ置き場にいるのをごみ回収業者が発見した。警察が捕獲したものを理科専科だった崎原校長で展示している。内蔵などを取り除いてホルマリン漬けにし、校長室前で展示している。

児童らは身長比べをしたり、ハブの文様を観察したりするなど興味津々の様子だった。身長126・8センチの久保田愛弓さん（4年）は「自分より大きくてびっくりした。こんなのがごみ捨て場で出

てきたら怖い。気を付けようと思った」と話した。崎原校長によると、学校周辺はここ数年で都市開発が急激に進んだ。だが学校東側に木が生い茂る環境が残っており、そのハブではないかとみている。ハブ発見以降、市環境保全課などと連携して校内にハブ捕り器を二つ置くなど注意を強めている。同じハブのものとみられる脱皮後の抜け殻も見つかり、一緒に展示した。崎原校長は「ヘビは脱皮すると大きく成長する。子どもたちもこれまでの自分から脱皮し、大きく成長してほしい」と話した。

(2012年5月29日 29面)

☆捕獲されたハブはどこから来たのでしょうか？ また、ハブ発見後にはどのような対策が取られたのでしょうか？

年 組 名前